

【TOPICS 2】・・・ハーモニーやまなみ

グループホーム初の歯科検診を実施しました！



2月16日、グループホームの入居者を対象とした歯科検診を行いました。グループホームとしては初めての試みです。協力歯科医院になって頂いている地元の清水歯科医院さんにご協力を頂き実施しました。入居者の方の健康管理の上で歯の状態をスタッフと共有することは大切だと考え実施しました。

今後も毎年実施し、健康な歯の維持管理を入居者の皆さんとして行きたいと思います。

【TOPICS 3】・・・みやま工房

農福連携事業「漬物用白菜の委託栽培」

今年もみやま工房の畑では、キムチ漬に使用される白菜の委託栽培を行いました。企業様より種等の支給を受け栽培します。収穫の季節になると栽培基準に合った白菜を全量買い取りして頂けます。例年、みやま工房の農業班にとって、利用者の工賃に繋げる仕事の一旦を担っています。



新年度(令和4年)度賛助会員募集中！

「山脈」の設立趣旨に賛同し、私達の活動を応援してくれる方を募集します。一口2,000円で何口でもかまいません。昨年に引き続き、皆様の温かいご理解とご支援を宜しくお願い致します。

賛助会員 年会費 2,000円(一口)

山脈ニュースをお届けします

賛助会員になられた方には、毎月、当法人の活動の内容をお伝えする「山脈ニュース」をお届けします。

発行

特定非営利活動法人 山脈 理事長 笹澤 繁男

住所：〒370-3604 群馬県北群馬郡吉岡町大字南下 983-2(みやま工房内)

電話：0279-54-2947 FAX：0279-54-9171

E-mail：rep@npo-yamanami.jp

URL：<http://www.npo-yamanami.jp/>

運営 就労継続支援B型事業所「みやま工房」

就労継続支援B型事業所「麦のゆめ」

就労継続支援B型事業所「キッチンハウスみやま」

グループホーム「ハーモニーやまなみ」1号・2号・3号・5号・6号

(文責：笹澤賢一)

NPO
法人

山脈ニュース

2022.4

No.225

STOP WAR！今、平和について考えましょう！

北京オリンピックが終了し、その感動が冷めやらぬうちにロシアによるウクライナへの武力侵攻が開始され、その衝撃的な映像に世界が震撼させられました。ロシア軍の侵攻は軍事施設に止まらず、学校をはじめとする民間施設、更には原子力発電所への攻撃とエスカレートし多くの犠牲者出ており、そして、多くのウクライナの人達が国を追われ、隣国に避難しています。また、プーチン大統領は核兵器の使用にも言及しており、世界的な戦争の危機を迎えています。

第2次世界大戦後、人類は幾度となくあった世界大戦の危機を乗り越えてきました。しかし、今、再び第3次世界大戦が懸念される中、世界の国々が協力しこのロシアによる暴挙を止めなければいけません。

そして、私達は未来に向かい、恒久的な世界平和について話し合っていかなければならないと思います。

人類の歴史においても戦争は憎しみと悲しみしか生み出しません。日本は第2次世界大戦において民間人を含む大きな犠牲者を出しました。また、侵略により多くのアジアの国々の人達を殺戮した加害者です。そして、戦争における世界で唯一の被爆国です。日本はこの辛い経験と反省からもう二度と戦争による犠牲者を出してはいけないと平和を誓いました。その誓いを形にしたのが、国際紛争を解決する手段として武力行使(戦争)を放棄することを定めた第9条を持つ日本の平和憲法です。

私達は先人の多大な犠牲の上にできたこの平和憲法をこれからも守り、武力に依らず、対話を以って紛争を解決すべきであるという平和のメッセージを世界に発信し続けていかなければならないと思います。

令和4年度 障害福祉サービス事業所の職員体制

桜の便りも届き、いよいよ新年度を迎えました。山脈の障害福祉サービス事業所につきましては、以下の職員体制で運営して参りますので宜しくお願い致します。

就労継続支援B型 みやま工房

管理者 課長 千葉敏勝
サービス管理責任者 課長 渡邊裕治

就労継続支援B型 キッチンハウスみやま

管理者 課長 船津和彦
サービス管理責任者 係長 大井由紀子

就労継続支援B型 麦のゆめ

管理者 課長 芦川香織
サービス管理責任者 課長 芦川香織(兼務)

共同生活援助 ハーモニーやまなみ

管理者 専務 笹澤賢一
サービス管理責任者 係長 松岡玲子
主任 小林かおる

※ワークハウスみやま(高崎市金古町)については、令和4年3月31日を以て、事業を廃止し、上記4つのサービス事業所となりました。

※令和4年度より、みやま工房内に法人運営に係る業務を担当する総務課と企画管理課から成る法人事務局を設置しました。

【TOPICS 1】・・・ハーモニーやまなみ

自立生活援助を卒業し、いよいよ新たな生活へ

昨年4月、グループホーム「ハーモニーやまなみ」を退所し、アパートで二人暮らしを始めたOさん（女性）とKさん（男性）のカップル。退所後、ハーモニーやまなみの自立生活援助を利用していました。そして、1年のサービス利用契約が終了し、この4月から新たな生活がスタートします。そこで新たな生活を始めるお二人にインタビューしました。とても明るいお話が聞け、微笑ましく感じられました。お二人とも頑張ってください。応援しています。

【Q1】もうすぐアパートへ出て1年が経ちますが、アパートの暮らしはどうですか？

Oさん グループホームとちがって外出届が要らないのがいいです。
アパートの生活は自由で良かった。でも、今までグループホームで頑張ったから今が楽しいと思う。就職もできたので収入があるので自立生活が出来ています。

Kさん グループホームを出て、アパートの生活が出来て楽しい。
色々と生活の制限がないのが嬉しい。買い物が増えたけど、仕事があって収入があることが大切だと思う。車があるので便利な暮らしが出来ています。

【Q2】今の生活の環境はどうですか？

Oさん アパートは静かです。大家さんも優しい。
アパートに暮らすようになってから弟や親戚が遊びに来てくれるようになりました。

Kさん ご近所の人が親切に声を掛けてくれます。車を使って通所も買い物もできるので便利です。

【Q3】ふたりで生活することで良かったことは？

Oさん 生活費が半分で済む。話が楽しく出来る。Kさんは話を良く聞いてくれます。
ゲームが二人だと楽しい。二人で色々なところへ行けます。Kさんが掃除をしてくれる。

Kさん 生活費が半分で良い。話が二人だと楽しい。ゲームやテレビを一緒に楽しめる。
自分は掃除、Oさんが料理をしてくれる。二人で出かけられて楽しい。

【Q4】不安なことはありますか？

Oさん 住み始めた頃は、周りが静かで怖いと思った。今は大丈夫。

Kさん 困ったことは相談できるので安心している。

【Q5】これからの目標は？

Oさん このままがいい。アパートで一生涯、二人で暮らしたい。金沢に旅行に行きたい。
貯蓄をする。結婚を考えています。結婚写真を撮りたい。

Kさん 今の2人の生活を続けたい。世界旅行をしてみたい。Oさんを金沢に連れていく。
籍を入れて結婚したい。
65歳までは仕事を頑張り、貯蓄をして、老後は2人で温泉に出かけたり、畑で野菜作りをして過ごしたいです。

自己実現と自己表現の広場

山脈の利用者さんがピア活動のひとつとして自主発行を始めた「かわら版」の第3版です。過去2回の発行は、山脈ニュースと一緒に折り込みお届けしました。今回は、山脈ニュースに掲載させて頂きました。テーマは、「パラリンピック」です。昨年夏に開催された東京パラリンピック、そして、まだ記憶に新しい先日の北京パラリンピックでも障がい者の方がその競技で世界中に勇気を与えてくれました。その華やかなパラリンピックについて当事者、そして、そのご家族達には様々な想いがあるようです。

【かわら版 No.3】

「ある母の叫び」

（Hさんがある情報番組を観て）

世間では、パラリンピックでハツラツと活躍する障がい者を見て、

『障がい者でも努力をすれば、障がいを乗り越えられる』

と言うようなことを言っている。

こういった記事を読み、脳性麻痺の十三歳の子供を持つ母親が

『そう思われるのは迷惑だ！』と言う。

また、その母親はこうも言う。

『パラリンピックに出られるのは障がい者の中でもわずかの人達。

障がいの軽い人達ばかり。

実情は、障がい者は幼稚園でも学校でも嫌われ生きる場所がない。

お金があつたり、障がいの軽い人達ばかりに目がいってしまうのが現実。

勝ち組の障がい者だけでなく、もっともっと日の当たらない、

救わなくてはならない人達がいる。

そのことを多くの人々に知って欲しい』

Hさんが実際に観たニュースです。

皆さんはどう考えますか。このお母さんの叫びを！

b y おれの会